2026
秋号

いでちゃんねる

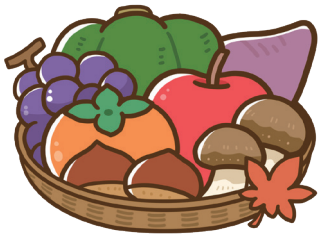


松戸市議会議員　公明党　井出 まさこ

2026
市議会９月定例会より

ご挨拶

令和８年９月議会では、防災や災害時における情報伝達、公園運営、子どもたちの健診機会など、暮らしに身近な課題について質問・要望を行いました。これからも現場の声に寄り添い、安心して暮らせる松戸のまちづくりに努めてまいります。



1. 小金原体育館にみる避難所の環境整備について



小金原体育館は、市内でも数少ない“**ペットと一緒に避難できる**”指定避難所です。今年８月の千葉豪雨の際、防災士として地域の状況を確認する中で、体育館前の道路が冠水し、車での避難が難しい状態になっていることを目の当たりにしました。災害時にペットを連れて避難したいという声は多く、飼い主にとってペットは大切な家族です。一方で、**アレルギーや苦手な方への配慮も必要**です。だからこそ、誰もが安心して過ごせるよう、人とペットが無理なく分かれて過ごせるスペースづくりや、屋内で安全に待機できる環境整備が欠かせません。私は、**ペット同伴避難や同室避難の仕組みを含めた環境整備**を強く求めました。

また、体育館駐車場にある災害備蓄品の倉庫では、扉のすぐ近くまで浸水が迫り、**備蓄品が危険にさらされている状況でした。市内の避難所で備蓄品が本当に安全に保管されているのか**、実態の把握と改善策を質問しました。あわせて、賞味期限切れ等を防ぎ、必要な資機材や食料を確実に確保するため、ローリングストックの徹底などを要望しました。

災害はいつ起きるかわかりません。市民の皆さまの命と暮らしを守るため、これからも現場の声を大切にしながら、**安心できる更なる松戸の防災体制づくり**に力を尽くしてまいります。

2. 災害時における情報伝達体制の強化について



熊本地震では、現地からSNSを通じて安否確認や生活再建に関する切実な声が多く発信されました。また、私自身がデフバレーボールを観戦した際、ろう者のご夫婦から「メガホンで案内されても内容が分からず、周囲の動きを見て判断している」と伺いました。この経験から、掲示物があっても、**緊急時の変更や案内はどうしても音声中心になりがち**で、避難所で混乱を生む可能性があると強く感じました。

厚生労働省も、音声だけに頼らず、文字・図・手話など多様な手段を組み合わせた情報伝達体制の整備を求めています。そこで私は、**こうした多面的な情報を避難所でどのように標準化し、実際の運用につなげていくのか**を質問しました。市からは、小中学校の避難所にピクトグラムを整備し、指差しによる意思確認や掲示物の文字情報を活用していること、今後も多様な避難者に対応できる体制づくりを進めるとの答弁がありました。

さらに、手話通訳者や要約筆記者の配置、ホワイトボードによる個別支援、遠隔通訳の活用など、国が示す取組みについても確認しました。松戸市として、人材確保や音声を文字に変換するデジタル技術の活用を進め、県や関係団体と連携しながら体制整備に努めるとのことでした。

災害時に最も困るのは「**必要な情報が届かないこと**」です。スマホが使えない状況や、そもそもスマホを持たない高齢者の方々にも、確実に情報が伝わる仕組みが欠かせません。私は、停電・通信障害時を想定し、掲示や回覧など**アナログな周知手段を事前に整備**すること、そして**伝達手順の標準化とマニュアル化**をさらに進めるよう強く要望しました。

発行責任者：発行人：松戸市議会議員　井出昌子　松戸市栗ヶ沢 830 番地の 52

3. 21 世紀の森と広場について

市民の皆さまからは、21 世紀の森と広場について**通年での早朝開園**や、**もっと楽しめる公園の運営**を望む声が多く寄せられています。厚生労働省などの知見でも、朝の運動や日光浴は健康づくりやフレイル予防に効果があり、**将来的な医療費・介護費の抑制にもつながる**とされています。近隣自治体では柔軟な開園が進んでおります。

早朝の時間帯は、光や空気が澄み、自然の魅力が最も引き立つ特別なひとときです。私は、早朝開園の拡大を契機として、朝の自然観察会や健康ウォーク、フォトセッション、モーニングマーケットなど、朝ならではの魅力を活かした取組みを提案しました。こうした取組みは、**公園のポテンシャルを最大限に引き出し、松戸市のブランド価値を高める大きな力になる**と考えています。

続いて、市民からの声をどのように把握し、公園運営に反映していくのかについて質問しました。市からは「アンケートやイベントでいただいた声を丁寧に受け止め、運営に生かしていく」との答弁がありました。**市民参加型の企画や、意見を丁寧に取り入れた運営は、公園が地域交流の拠点として発展するうえで欠かせません。**

私は、柔軟で魅力ある運営を力強く推進していただきたいと要望しました。

「**松戸市には 21 世紀の森と広場がある！**」と「松戸の誇り」としてさらに輝くよう、これからも全力で取り組んでまいります。

4. 学校健康診断の未受診者への対応について



私はこれまで、未来の宝である松戸市の子どもたちが、誰一人置き去りにされることなく、健やかに、のびやかに成長できるまちをめざし、さまざまな提案を続けてきました。今回の議会では、その思いを象徴する「**学校健康診断の受診機会確保**」について質問しました。

学校健診は、子どもの健康状態を把握し、異常を早期に見つける大切な機会です。しかし、様々な事情から、登校が難しい児童生徒にとって健診は特別な行事であり、心理的負担が大きく、受診できないまま年度が終わってしまう課題がありました。私は令和 6 年 6 月、令和 7 年 12 月議会で繰り返し取り上げ、**今年度から「ふれあい学級」などを会場とした新たな健診機会が導入**されました。

その実施状況を伺ったところ、計 437 名（内科 304 名、歯科 276 名など）が受診し、「非常にありがたかった」「受診できてよかった」といった保護者の声が寄せられています。市としても、「**関係機関と協力し受診機会を確保できたことを大きな成果**」と捉えており、松戸市医師会・松戸歯科医師会をはじめ、関係部局の皆さまのご尽力に深く感謝申し上げます。

一方で、初年度の実施を通じて見えてきた課題もあります。未受診者の個別事情の把握、実施日の拡充、健診当日の人的体制などの改善点が示されました。市としては、「**学校や関係機関と連携し、すべての児童生徒が受診できる環境整備に努める**」とのことです。

私は、必要な情報が確実に家庭へ届くよう、周知や個別アプローチの強化を強く要望しました。

これからも、子どもたち一人ひとりの健康と権利を守るため、**誰も取り残さない支援の更なる充実**に全力で取り組んでまいります。

「松戸市議会議会中継」の動画アーカイブはこちら

みなさまの声が カタチになりました！



路面標示の塗り直し



カーブミラーの調整



水道の設置



カーブミラーの設置



通学路の安全対策



二丁目の階段の除草

みなさまの声をお寄せください
070-6520-0764
m.ide.matsudo@gmail.com

公式 HP 最新情報発信中！
SNS 情報・ブログ・実績など新しい情報をご覧いただけます！
井出　まさこ

＼SNS で情報発信中／
お使いの SNS で最新情報チェック！